紙相撲新聞
第148回本場所
四日～七日目号
編集・発行
日本ら紙相撲協会

美空ら桐壷絶好調

美空富士と支那虎が7連勝、1敗で春翔、魁電、若剣、虎風

【第百四十八回本場所四日～七日目】

第148回紙相撲本場所は3月17日に幕内と十両の四日目と五日目、幕下に新弟子検査のあと育成会も初日を迎えた。更に早くも六日後の3月23日に幕下、十両の中日六日目と七日目、幕下と育成会の二日目、三日目までの取り組みが連日の熱戦に全国の紙相撲ファンで大いに沸く都内は練馬国技館にて取り行われた。

序盤の三日目までを取り終えて全勝の美空富士、春ノ翔、超刃、支那虎、若剣、虎風、生駒山、磯光の八名を先頭に、若ノ嶋をはじめとする十一名の1敗勢が追う展開となり迎えた四日目と五日目。

全勝8名のうち5人を擁する桐壷部屋の力士は、横綱美空富士、大関春ノ翔、支那虎が好調さを見せ5連勝としたが、若剣、虎風、生駒山、磯光はそれぞれ1敗を喫し、超刃は横綱二連戦に連敗し2敗と後退、1敗勢からは若乃嶋、魁電、佐賀ノ海、綱嵐が一敗を守った。5連勝を決めた美空富士、春ノ翔、支那虎の桐壷勢3名を一敗の8名が追う展開に変わって中日六日目と七日目を迎えた。

今場所は五日目までを取り終えて美空富士に春ノ翔の桐壷部屋二枚看板の全勝をはじめ関脇以上の8力士が全員白星先行と好調さを維持して場所を盛り上げ、紙相撲ファンはもとより協会陣も安心の滑り出し。

そんな上位陣安泰のなか横綱美空富士は中日の六日目、大神楽に左を差させず出足から右を押っ付け、のど輪から押し倒しに沈め無傷で勝ち越しを決める

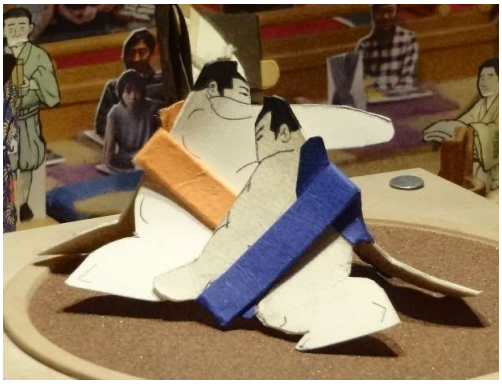
中日、大関復帰を賭けた大神楽との一戦。ここまで全勝の美空富士は、勢いの違いを見せて大神楽を圧倒。正面土俵下に押し倒した。

と、続く七日目は新鋭に英鋭に足で寄切っ貫禄を見せて完勝。

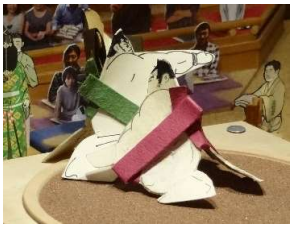
新鋭の筏出手の一気の横綱の支那虎も六日目の綱嵐戦では立会いから土俵一周半にわたる差し手争いの隙を突いて押し倒しに降すと、七日目の生駒山相手にも鋭い出足から左を差すと一気に正面土俵に寄り切って連日好調の新入幕の2人を難なく捌き、美空富士、支那虎が7連勝とした。

もう一人全勝だった大関春ノ翔は六日目に勝ち越しを決めた

美空富○（寄り切り）●英　筏



もう一人の全勝、春ノ翔は一敗の魁電と対戦。左差しから追い詰めたが引き落しを食らった。



生駒山●（寄り切り）○支那虎

全勝　一敗
美空富士　春ノ翔　若剣　魁電　支那虎　虎風　若ノ嶋　佐賀ノ海

第148回本場所星取表

○○○○○○○	美空富士	横綱	若乃嶋	○○●○○○●
●○○○○○○	春ノ翔	大関	白閃光	○○●○●●●
○○○○○●○	魁電	関脇	佐賀ノ海	○●○○○●○
●●○○●○●	英筏	関脇	大神楽	●○●○○●○
○○○●●●●	玄武岩	小結	出羽翼	●●○●○●○
●●●●●●●	水晶嶽	前1	阿古耶川	●●○●●●○
●●●●○○○	超刃	前2	虎剛力	●●○●●○●
○○●●●○○	朱雀湖	前3	剛魚山	●●●●●●○
●●●●●●●	恵力	前4	鳥帽子岳	○○●●●●●
●○○●○●○	四季嶋	前5	源氏丸	●○○●○●○
●○●○●●●	鹿富士	前6	支那虎	○○○○○○○
○○○○○●●	月山	前7	大江錦	●○●○●○○
○○○●○○○	若剣	前8	磯昇	●●●○○○●
●●●○○●○	富士ノ花	前9	角武蔵	●●●○○●●
○○○●○○○	虎風	前10	琴乃王	○○●●●○●
●●●●●●●	鬼ケ嶽	前11	綱嵐	○○○○○●●
○●○●●○●	黒船	前12	生駒山	○○○○●●●
○●○●○○○	磯光	前13	初戸	○●○●○○●
○●●●●●●	三鷹	前14	鳥海浪	○●●○●○○

●○●●●●●	天我	十1	電幕	○●●●○●○
●○●●○○●	虎ノ國	十2	照の王	○○○○●○●
●●●●○○○	寶蔵	十3	剣竜	●○○○○○○
○●●○●●●	磯燕	十4	葵盛	○●●○○●○
●●●○○○●	伊達富士	十5	日向藤	○●●●●○○
○○○○○●○	若巨	十6	男女ノ山	●●○○●●●
○○○○●●●	大槽	十7	桃乃洲	○●●●○●●
●●○●●○○	紅葉盛	十8	龍不動	●○○○○○○
●●○●○●○	剣灘	十9	太刀鳳	○○○○●●○
●●●●○●●	醍醐	十10	櫻吹雪	○●●○●○○
○○○●●○○	若柱	十11	磯目ノ丸	●●○●○●○
○○●●●●○	冬牡丹	十12	喜乃郷	●○○○○○●
●○○○●●○	若佑	十13	鹿幟	●○○○●●○
●●●○●●○	響竜	十14	雪若丸	●○○●●●○

その魁電は前日の六日目にも白閃光を降して大関を二連続で撃破し一敗を守ると、若剣虎風も1敗を守って、先頭の二人を追走。さらに七日目に苦手の大神楽に寄り切られた若乃嶋、六日目に春ノ翔に寄り切られた佐賀ノ海、源氏丸、富士ノ花の実力者を破り5連勝で2敗を守った月山、六日目に虎風に寄り切られた磯光が2敗で続く。

大神楽○（寄り切り）●若乃嶋

が、七日目には好調の関脇魁電と対戦。差し手争いを制して左を差すも腰の重い魁電を攻め切れず、引き落しに敗れ1敗を喫した。

今場所の上位陣の安定感を見ると3敗祭りの展開は考え難く、優勝争いは2敗までの10名か？その10名のうち桐壷勢が5名さらに同系の魁電を加えると一敗までの上位6人の快進撃だ。苦戦を強いられた先場所の鬱憤を晴らす様に今場所は桐壷旋風が巻き起こっている。